

血液検査データの見方

血液の状態を見る



項目名	略称	基準範囲	単位	説明
白血球数	WBC	33 - 86	百/μl	細菌や異物が体内に入ったり、炎症を起こすと体を守るために増えます。
赤血球数	RBC	男性 ; 433 - 555 女性 ; 386 - 492	万/μl	赤血球にはヘモグロビンという色素が含まれており、体の隅々に酸素を運ぶ役割を担っています。ヘマトクリットは血液中の血球の割合を示します。赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリットを測定することは貧血の診断に不可欠です。
ヘモグロビン値	Hb	男性 ; 13.7 - 16.8 女性 ; 11.6 - 14.8	g/dl	
ヘマトクリット値	Ht	男性 ; 40.7 - 50.1 女性 ; 35.1 - 44.4	%	
血小板数	PLT	15.8 - 34.8	万/μl	

肝機能を見る



アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	13 - 30	U/l	肝臓に多く含まれる酵素で肝細胞が障害を受けると数値が上昇します。
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	男性 ; 10 - 42 女性 ; 7 - 23	U/l	
乳酸脱水素酵素	LDH	124 - 222	U/l	多くの臓器の細胞に含まれる酵素で細胞の変性や壊死で数値が上昇します。
総ビリルビン	T-Bil	0.4 - 1.5	mg/dl	胆汁の主成分で肝臓や胆道系の異常で数値が上昇します。ビリルビンが極端に上昇すると黄疸が出現するケースもあります。

腎機能を見る



尿素窒素	BUN	8 - 20	mg/dl	腎臓から排泄される老廃物で、腎機能が低下すると数値が上昇します。
クレアチニン	CRE	男性 ; 0.65 - 1.07 女性 ; 0.46 - 0.79	mg/dl	筋肉の代謝物質で、腎臓から排泄されます。腎機能が低下すると数値が上昇します。
尿酸	UA	男性 ; 3.7 - 7.8 女性 ; 2.6 - 5.5	mg/dl	細胞の核にあるDNAやRNAが分解されてできる老廃物で腎臓から排泄されます。腎機能が低下すると数値が上昇し、痛風を誘発するケースもあります。

脂質異常を見る



総コレステロール	T-CHO	142 - 248	mg/dl	動脈硬化の危険因子とされています。
HDLコレステロール	HDL-C	男性 ; 38 - 90 女性 ; 48 - 103	mg/dl	善玉コレステロールと呼ばれるもので動脈硬化を防ぐ働きがあります。
LDLコレステロール	LDL-C	65 - 163	mg/dl	悪玉コレステロールと呼ばれるもので、動脈硬化の最も強力な危険因子です。数値が上昇すると心筋梗塞や脳梗塞を誘発するケースもあります。
中性脂肪	TG	男性 ; 40 - 234 女性 ; 30 - 117	mg/dl	食事により数値が大きく変動し、数値が高値の場合には、動脈硬化、脂肪肝、肥満の原因になります。

糖質異常を見る

血糖	GLU	73 - 109	mg/dl	血液中の数値を確認し、糖尿病をチェックします。
ヘモグロビンA1c	HbA1c	4.6 - 6.2	%	過去1~2ヶ月間の血糖値の平均を見ます。糖尿病のコントロールの際に指標として用います。

その他



総蛋白	TP	6.6 - 8.1	g/dl	血液中に含まれるたんぱく質の総称です。肝臓や腎臓の障害により数値が変動します。
アルブミン	ALB	4.1 - 5.1	g/dl	肝臓に障害がある場合には数値が極端に減少します。栄養状態が悪くても低下します。
クレアチン・ホスホキナーゼ	CPK	男性 ; 59 - 248 女性 ; 41 - 153	U/l	心筋や骨格筋、脳に含まれる酵素で、心筋梗塞では心筋が障害を受けることで数値が上昇します。
ナトリウム	Na	138 - 145	mEq/l	体内の水分調節や浸透圧のバランスを保つ役割を果たします。
クロール	Cl	101 - 108	mEq/l	
カリウム	K	3.6 - 4.8	mEq/l	心臓や神経の働きを助け、生命維持に重要な役割を果たします。
C反応性蛋白	CRP	0 - 0.14	mg/dl	感染症や心筋梗塞などで炎症が起こると数値が上昇します。炎症の重症度などの指標になります。